

【投書】 日本大学本部人事部職員&三軒茶屋キャンパス事務局職員より

【告発】 悪行はいつもの3人組（田中理事長、内田人事部長兼体育局長、大里総務部長）の一人、内田正人人事部長兼体育局長が陸上部の井部誠一助監督をボコボコに殴る蹴るの大立ち回りを、4月4日、5日の2日間、本部3階の保健体育事務局長室で行い、現場は罵声と暴力が飛び交い「血の海」と化した！

週刊文春 2017年4月13日号が報じた、五輪3大会出場 やり投げ・村上幸史選手が女子大生と不倫で訴訟沙汰について、既に日本大学本部総務部、人事部、広報部では3月から週刊文春側に記事掲載を止める交渉を行っていた。その最中、内田正人人事部長兼体育局長は連日、陸上部小山裕三監督（スポーツ科学部長）、井部誠一助監督（三軒茶屋キャンパス管理マネジメント課長）を本部体育局長室に呼び出し、事情聴取を行い、昨年段階で、村上コーチの状況（離婚訴訟）を把握しておきながら「監督不行届」「監督不十分」で何も対応していなかったことで、週刊文春のネタにされ、大学（体育局）の名誉を著しく汚したことで、何よりも田中理事長に汚点をつけたとして、井部誠一助監督をグー（拳）パンチでボコボコに殴る蹴るの大立ち回り（暴力行為）を行い、本部3階体育局長室は血の海と化した。その時、現場や廊下で聞いていた我々職員（総務部、人事部、体育局）は本来ならば傷害事件として訴えるべきところだが、内田正人は日本大学理事、人事部長、保健体育事務局長、アメフット監督、事業部取締役と現在の田中理事長体制の筆頭パシリであるので、情け無いがその場ですぐに対応できず、今回ばかりは本部人事部職員と三軒茶屋キャンパス事務局職員とが、井部課長が殴られた痛みを返すため投書することとし、警察介入を要請する。なお、過去に敬天新聞が取り上げた「AV ホモ男優の井上奨（アメフット現役時代 2011年ホモAVに出演した記事がFRY DAY、2013.9.6掲載）」だが、卒業後日大事業部勤務を経て裏採用で日大三軒茶屋キャンパス教学サポート課勤務となり、小山学部長、井部課長に散々お世話になりながらPHOENIXコーチ兼日大豊山高校アメリカンフットボール部監督をやらせてもらっているにも拘らず、今現在でも日大事業部の悪行を裏で手伝っている。FRY DAY、2013.9.6掲載事件時、内田正人が保健体育事務局長であったので、井上奨のFRYDAY掲載記事は闇から闇へ葬られ、事件を起こした井上奨はこの時の恩を一生掛け内田人事部長兼体育局長に返すため永遠のパシリとして、日々市ヶ谷の大学本部と世田谷の三軒茶屋キャンパスを早朝から往復していることは、本部内と三軒茶屋キャンパス内の職員間では有名な話である。また、付属高校教員が起こした事件について、昨年日大東北高校相撲部で発生した生徒（相撲部員）への暴行指導（工藤豪人教諭・日大相撲部出身）は、日大東北高校長に無理やり記者会見をさせるなどして内田人事部長兼体育局長は姿を隠し、責任を松井校長に擦り付けたが、昨年前期、日大鶴ヶ丘高校教諭の榎本俊一（日大アメフット部出身）が起こした鶴ヶ丘高校女子生徒へのセクハラ事件では、内田人事部長兼体育局長が職権を乱用し、昨年後期、榎本教諭を体育局に勤務させ、今年3月ひっそりと榎本教諭を豊山高校へ勤務（人事異動発表を隠す）させている。このように一連の大学・付属高校で起きた事件に対する内田人事部長兼体育局長の対応だが、今回の陸上部コーチの村上幸史（文理学部助教）が起こした訴訟沙汰と上記アメフット部、相撲部出身者が起こした事件との対応の違いは明白でありオカシイ！日大に蔓延る“悪の源泉＝内田人事部長兼体育局長”を人事給与委員会に諮り懲戒解雇とすることで、次は大里総務部長へと続けることが、今年6月役員改選を行う本学において最も大切なこととなる。本部人事部職員&三軒茶屋キャンパス事務局職員は切に願うものである！

追伸：内田人事部長兼体育局長のfacebookを見るべし！

我が学校法人日本大学役員（理事・評議員）、人事部長、保健体育事務局長、アメフット監督、事業部取締役の立場の人間とは到底思えない程の社会性の無い恥ずかしい裸等の写真が多く掲載されており、日本大学の恥！大学から追放。日本大学職員（法人本部勤務者）として一緒に思われると本当に情けない。毎朝一番で本部に出勤し、市ヶ谷スタバでコーヒーとシナモンロールテイクアウトは可哀想。（人事部職員より）